Ⓐ

令和５年度　第１次試験問題

再試験

経済学・経済政策
１日目　９：50～10：50

＊試験開始前に、以下の事項を必ずご確認ください。

電卓、携帯電話やスマートフォン、ウエアラブル端末などの通信機器・電子機器類は、机上に置くことも、身に着ける(ポケット等に入れる)ことも、使用することもできません。このことが試験時間中に守られていない場合は、不正行為として対処します。試験開始前に、必ず電源を切った上でバッグなどにしまってください。
スマートウオッチやイヤホンなどの取り扱いも同様です。

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙に触れてはいけません。合図の前に問題用紙を開いた場合は、不正行為として対処します。
2. マークシートについての注意事項は、次のとおりです。
これらの事項を守らない場合、採点されませんので、注意してください。
(1) HB またはＢの鉛筆またはシャープペンシルを使用して、○部分をはみ出さないように、正しくマークしてください。鉛筆またはシャープペンシル以外の筆記用具を使用してはいけません。

良い例	悪い例				
●	⊖	▨	⊗	⊙	○ うすい

(2) 解答は選択肢(解答群)から１つ選び、所定の解答欄にマークしてください。
(3) 解答を修正する場合は、プラスチック製の消しゴムで消しあとが残らないようにきれいに消して、消しくずをマークシートから払い落としてください。
(4) マークシートに必要事項以外を記入してはいけません。
(5) マークシートを汚したり、折ったりしないように注意してください。
(6) マークシートは、必ず提出してください。持ち帰ることはできません。
3. 監督員の指示に従って、マークシートの所定欄に、受験票記載の受験番号と生年月日を、注意事項を参照の上、記入、マークしてください。記入、マークが終わったら再確認をして、筆記用具を置き、試験開始の合図があるまでお待ちください。
4. 試験開始後 30 分間および試験終了前５分間は退室できません。(下記参照)
5. 試験終了の合図と同時に必ず筆記用具を置いてください。試験終了後にマークや記入、修正をしてはいけません。マークや記入、修正をした場合は、不正行為として対処します。
6. マークシートの回収が終わり監督員の指示があるまで、席を立たないでください。
7. 試験時間中に体調不良などのやむを得ない事情で席を離れる場合には、監督員に申し出てその指示に従ってください。
8. その他、受験に当たっての注意事項は、受験票裏面などを参照してください。

＜途中退室者の方へ＞
試験開始 30 分後から終了５分前までの間に退室する場合は、マークシートと受験票を監督員席まで持参して、マークシートを提出してから退室してください。問題用紙も、表紙の下部に受験番号を記入した上であわせて提出してください。
問題用紙は、当該科目の試験終了後に該当する受験番号の席に置いておきますので、必要な方は当該科目の試験終了後 20 分以内に取りに来てください。それ以降は回収します。回収後はお渡しできません。なお、問題用紙の紛失などについては責を負いませんのでご承知おきください。

(途中退室する場合は、下の欄に受験番号を必ず記入してください。)

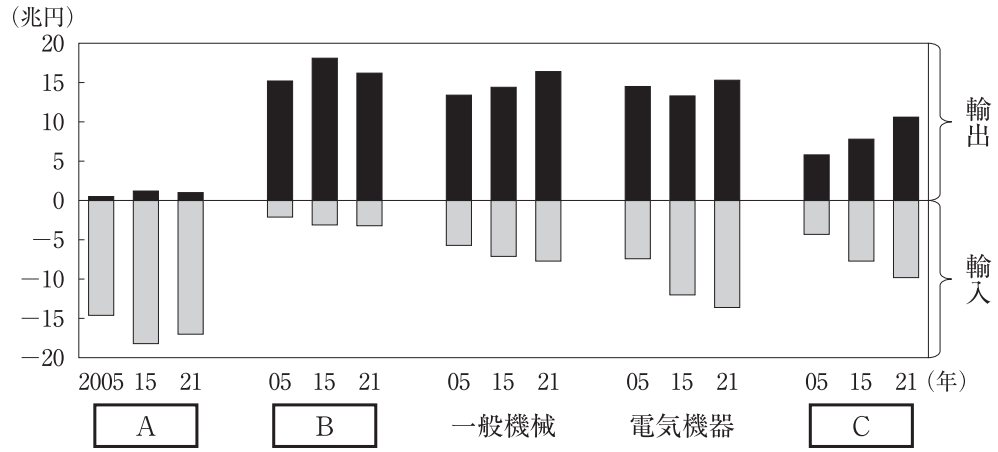
受験番号：

Ⓐ

DKJC-1A

第 1 問

下図は、日本の品目別輸出入バランスの動向を示したものである。図中の空欄Ａ～Ｃに該当する品目の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



出所：内閣府『日本経済 2022-2023』

〔解答群〕

ア　Ａ：化学製品　　Ｂ：鉱物性燃料　　Ｃ：輸送用機器

イ　Ａ：化学製品　　Ｂ：輸送用機器　　Ｃ：鉱物性燃料

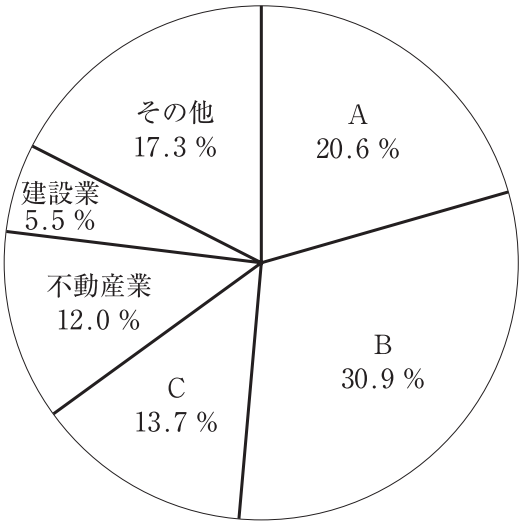
ウ　Ａ：鉱物性燃料　　Ｂ：化学製品　　Ｃ：輸送用機器

エ　Ａ：鉱物性燃料　　Ｂ：輸送用機器　　Ｃ：化学製品

オ　Ａ：輸送用機器　　Ｂ：鉱物性燃料　　Ｃ：化学製品

第 2 問

下図は、「2021 年度国民経済計算年次推計」に基づいた、日本の業種別 GDP の構成比率を示したものである。図中のＡ～Ｃに該当する業種の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



出所：経済産業省・厚生労働省・文部科学省『2023 年版ものづくり白書』

注

1．本図で区分される「サービス業」とは、「宿泊・飲食サービス業」、「専門・科学技術、業務支援サービス業」、「公務」、「教育」、「保健衛生・社会事業」、「その他のサービス業」とする。

2．構成比率は、各業種の付加価値を経済活動別付加価値の合計(547.4 兆円)で割った値である。

〔解答群〕

ア　A：卸売・小売業　　B：サービス業　　C：製造業

イ　A：サービス業　　B：卸売・小売業　　C：製造業

ウ　A：サービス業　　B：製造業　　C：卸売・小売業

エ　A：製造業　　B：卸売・小売業　　C：サービス業

オ　A：製造業　　B：サービス業　　C：卸売・小売業

第 3 問

次の仮設例①～③に基づく記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

① 果実農家が中間投入を行わずに 500 万円の果実を収穫した。そのうち、100 万円分を消費者に販売し、残り 400 万円分を飲料メーカーに販売した。

② 飲料メーカーは仕入れた 400 万円の果実のみを使って 600 万円のジュースを生産し、そのすべてを流通業者に販売した。

③ 流通業者は仕入れたジュースすべてを 800 万円で消費者に販売した。

〔解答群〕

ア 最終生産物の合計は 800 万円になる。

イ 投入された中間生産物の合計は 900 万円になる。

ウ 付加価値の合計は 900 万円になる。

エ 流通業者が生み出した付加価値は 800 万円になる。

第 4 問

内閣府の景気動向指数における先行系列の経済指標として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　営業利益(全産業)

b　完全失業率

c　新規求人数(除学卒)

d　マネーストック(M2)

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と d

ウ　b と c

エ　b と d

オ　c と d

第 5 問

物価上昇の効果に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。

a　名目利子率を一定とした場合、物価の上昇によって実質利子率は低下する。

b　名目 GDP を不変とした場合、物価の上昇によって実質 GDP は増加する。

c　物価の上昇は負債額の実質価値を低下させるために、債権者から債務者への所得再分配を引き起こす効果を持つ。

d　人々にインフレ期待が浸透すると、買い控えが生じて実際の物価は下落することになる。

〔解答群〕

ア　a と c

イ　a と d

ウ　b と c

エ　b と d

オ　c と d

第 6 問

投資の決定に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　ケインズの投資理論では、利子率の低下、投資費用の増加、投資から見込まれる将来収益の増加に応じて投資支出が増加することになる。

イ　新古典派の投資理論では、最適資本量と既存の資本量のギャップを埋めるように投資が行われ、資本のレンタル・コストの上昇や労働投入量の増加に応じて最適資本量も増加することになる。

ウ　投資の加速度原理では、生産量が拡大するほどストックとしての投資支出も増加することになる。

エ　トービンの q 理論では、株式市場における企業の市場価値が上昇するほど、また、資本の再取得価格が下落するほど、投資支出が増加することになる。

第 7 問

ケインズの有効需要の原理を考える。

いま、総需要 AD が

$$AD = C + I$$

で与えられるとする。

このうち、消費支出 C は

$$C = C_0 + cY$$

であり、C_0：独立消費、c：限界消費性向（$0 < c < 1$）、Y：GDP（所得）とする。

また、投資支出 I は

$$I = I_0 - ir$$

で示され、I_0：独立投資、i：投資の利子感応度、r：利子率とする。

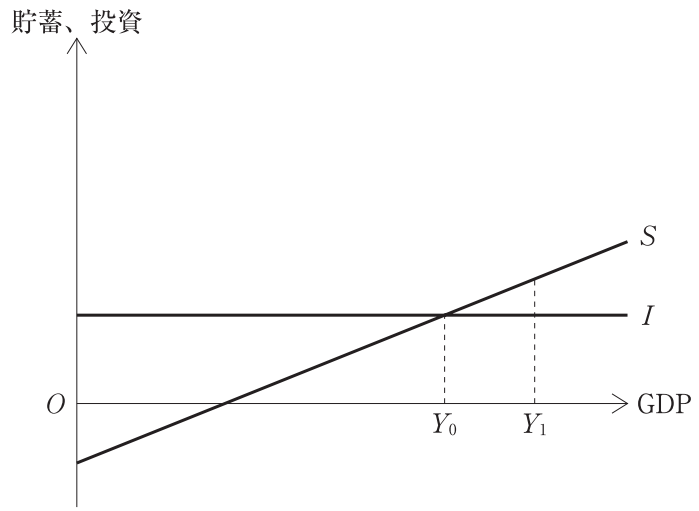
さらに、所得の処分式は

$$Y = C + S$$

で表され、S：貯蓄とする。

ここから、貯蓄－投資図を用いて均衡 GDP の決定を描くと、下図のようになる。なお、Y_0 が均衡 GDP に当たる。

この図に基づき、下記の設問に答えよ。



（設問１）

貯蓄－投資図の見方や均衡 GDP の決定に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　平均貯蓄性向は所得の増加に応じて上昇する。

b　GDP が Y_1 の水準にあるとき、生産物市場は超過需要の状態にある。

c　S 線の傾きは限界貯蓄性向に等しい。

d　生産物市場に超過供給が生じた場合、価格の下落を通じて均衡 GDP（Y_0）に到達する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤

イ　a：正　b：正　c：誤　d：正

ウ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：正

（設問２）

GDP の変動に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　人々の貯蓄意欲が高まると、*S* 線がより急な形状に変化し、GDP が減少して「倹約のパラドックス」と呼ばれる現象が生じる。

b　独立消費が増加すると、*S* 線が上方にシフトし、GDP は減少する。

c　利子率が低下すると、*I* 線が下方にシフトし、GDP は減少する。

d　限界消費性向が上昇すると、*S* 線がより緩やかに描かれ、GDP は増加する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：誤

イ　a：正　b：誤　c：誤　d：正

ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：誤

エ　a：誤　b：誤　c：正　d：正

オ　a：誤　b：誤　c：誤　d：正

第 8 問

貨幣理論および金融政策に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　ケインズの貨幣需要理論では、利子率の上昇と所得の増加に応じて貨幣需要が増加することになる。

イ　現金・預金比率が上昇すると、貨幣乗数(信用乗数)は低下する。

ウ　古典派の貨幣数量説では、名目貨幣供給が増加すると、物価もそれと同率で上昇し、名目 GDP が一定に維持されるという「貨幣の中立性」が成立する。

エ　裁量よりルールを重視するマネタリストは、名目貨幣供給の増加率と物価上昇率をほぼ同じにすることで経済は安定するという k % ルールを提唱する。

オ　中央銀行が売りオペを行うと、市中銀行が中央銀行に保有する当座預金の残高が増加して、ベースマネーの増加につながる。

第 9 問

小国、完全資本移動、静学的な為替レート予想、資産効果の捨象を仮定したマンデル＝フレミング・モデルに基づき、マクロ経済政策(財政・金融政策)の効果を考える。

下記の設問に答えよ。

(設問 1)

変動為替レート制下における政府支出拡大の効果に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　為替レートは増価する。
b　純輸出は減少する。
c　投資支出は減少する。
d　消費支出は減少する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤
イ　a：正　b：正　c：誤　d：正
ウ　a：正　b：正　c：誤　d：誤
エ　a：誤　b：誤　c：正　d：正
オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

（設問２）

変動為替レート制下における貨幣供給拡大の効果に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　為替レートは減価する。

b　純輸出は減少する。

c　投資支出は増加する。

d　消費支出は増加する。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：誤　d：正

イ　a：正　b：誤　c：正　d：正

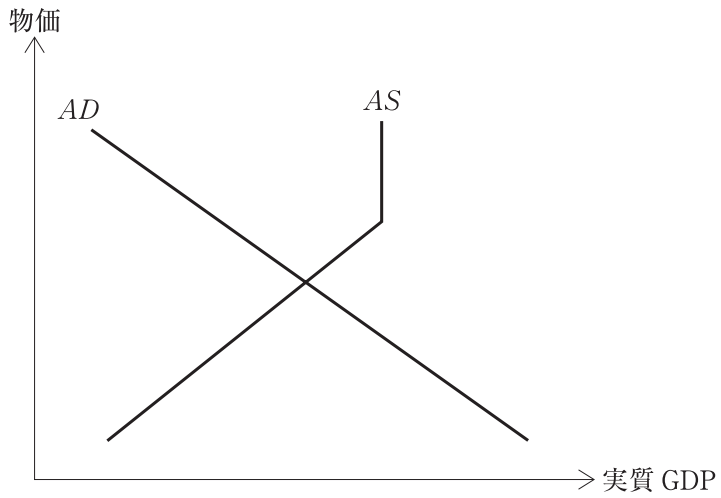
ウ　a：正　b：誤　c：誤　d：正

エ　a：誤　b：正　c：正　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：誤

第10問

下図は、総需要曲線 *AD* と総供給曲線 *AS* を描いている。この図に基づいて、下記の設問に答えよ。



（設問１）

AD 曲線の傾きに関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　貨幣需要の利子弾力性が大きいほど、*AD* 曲線の傾きはより急になる。

b　貨幣需要の所得弾力性が小さいほど、*AD* 曲線の傾きはより緩やかになる。

c　投資の利子弾力性が大きいほど、*AD* 曲線の傾きはより急になる。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正

エ　a：正　b：誤　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：誤

（設問２）

AS 曲線に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

a　名目賃金率が下方硬直的であるとき、物価の上昇に伴う実質賃金率の低下は、労働需要の増加による生産量の増加を通じて総供給を増加させる。このとき、*AS* 曲線の傾きは右上がりになる。

b　完全雇用水準では、物価が上昇したとしても実質賃金率は変わらず、労働投入の水準は変わらない。したがって、生産量も増えず、*AS* 曲線は垂直である。

c　資本ストックが増えると、*AS* 曲線は左にシフトする。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

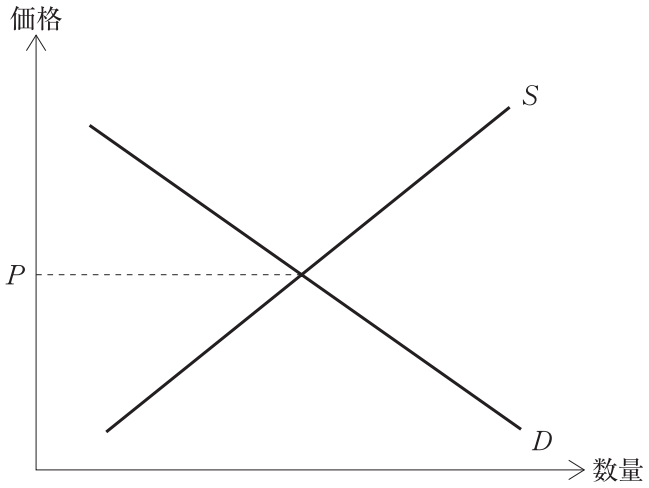
ウ　a：正　b：誤　c：誤

エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：誤

第11問

下図のような需要曲線 D と供給曲線 S で形成される、ある食品（上級財）の市場において、当初 P が均衡価格であったとする。この価格を上昇させる要因の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　当該食品の健康増進効果に関する知見の広まり

b　当該食品の生産技術の進歩

c　政府による生産補助金の交付

d　家計の所得の増大

〔解答群〕

ア　a と b

イ　a と c

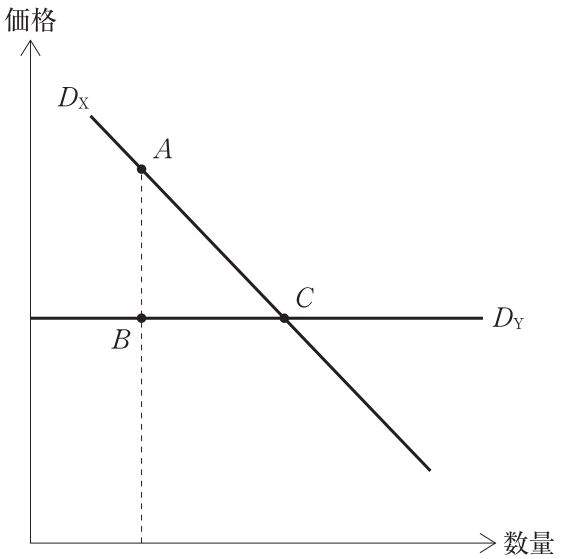
ウ　a と d

エ　b と c

オ　b と d

第12問

下図のように、X財は右下がりの需要曲線 D_X、Y財は水平な需要曲線 D_Y でそれぞれの需要曲線が与えられるとする。このとき、X財とY財の需要の価格弾力性に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　点 A におけるX財の需要の価格弾力性は、点 B におけるY財の需要の価格弾力性よりも小さい。

b　点 B におけるY財の需要の価格弾力性は、点 C におけるY財の需要の価格弾力性よりも小さい。

c　点 C におけるX財の需要の価格弾力性は、点 C におけるY財の需要の価格弾力性よりも小さい。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：誤　c：正

ウ　a：正　b：誤　c：誤

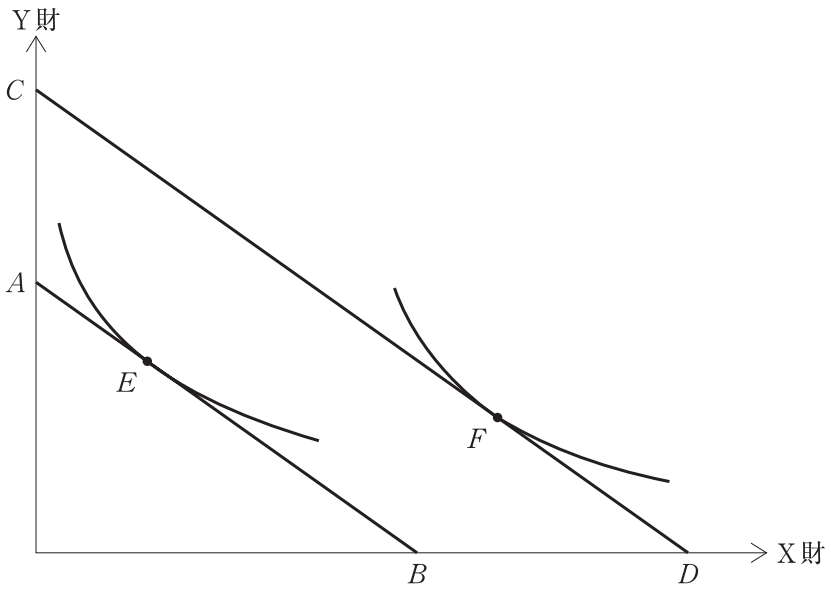
エ　a：誤　b：正　c：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正

第13問

ある個人が与えられた所得の下で、X財とY財を購入できるものとする。下図には、それぞれ異なる所得に基づく予算制約線 AB と予算制約線 CD が描かれており、また、予算制約線 AB と点 E で接する無差別曲線と、予算制約線 CD と点 F で接する無差別曲線が描かれている。

この図に関する記述として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　X財、Y財ともに、下級財である。

イ　X財、Y財ともに、必需財である。

ウ　X財は下級財であり、Y財は上級財である。

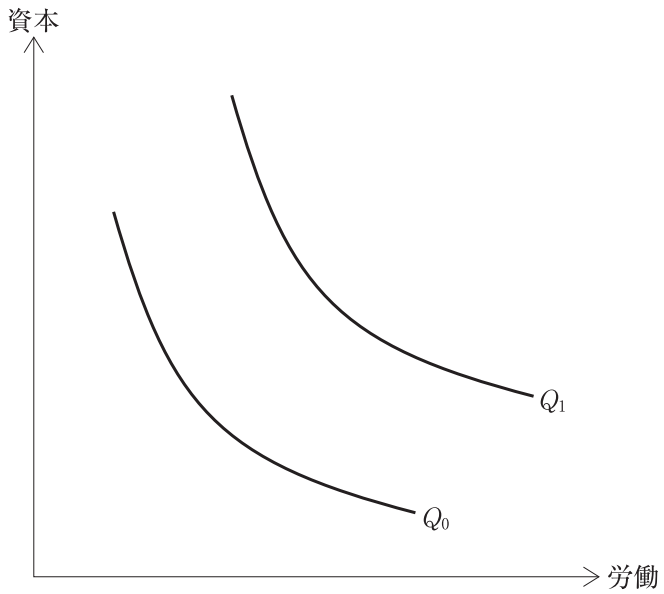
エ　X財は上級財であり、Y財は下級財である。

オ　X財は必需財であり、Y財は奢侈（しゃし）財である。

第14問

下図は、生産要素としての労働と資本を投入して生産される、ある財の等産出量曲線を描いている。ここで Q_1 の等産出量曲線での産出量は、Q_0 の等産出量曲線での産出量よりも大きいものとする。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　資本の投入量を一定に維持したまま、労働の投入量を増加させれば、産出量は必ず増大する。

b　同一の等産出量曲線上では、労働の投入量を減少させても、資本の投入量を増加させれば、一定の産出量を維持することができる。

c　労働の資本に対する技術的限界代替率は、各生産要素の投入量に関わらず一定である。

d　等産出量曲線が右上方にシフトすれば、資本・労働比率が一定の下で労働の資本に対する技術的限界代替率は必ず上昇する。

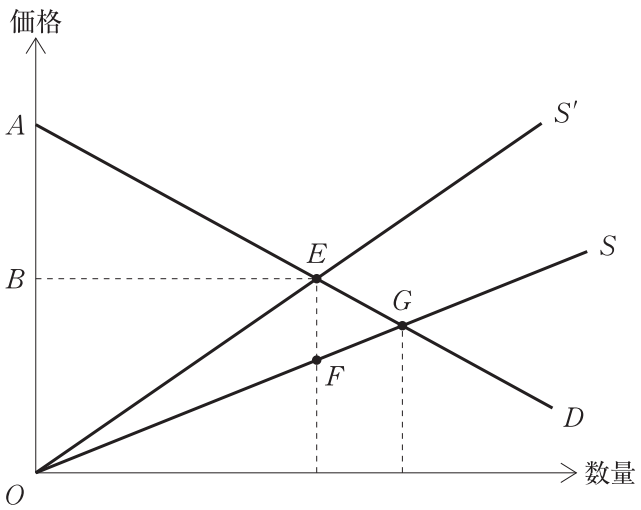
〔解答群〕

ア	a：正	b：正	c：誤	d：正
イ	a：正	b：正	c：誤	d：誤
ウ	a：正	b：誤	c：正	d：正
エ	a：誤	b：正	c：正	d：誤
オ	a：誤	b：正	c：誤	d：正

第15問

下図は、ある財の需要曲線 D と供給曲線 S である。いま、この財に $t\%$ の従価税を課すとする。このとき、S は課税前の供給曲線、S' は課税後の供給曲線である。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　課税後の生産者余剰は、三角形 BOE である。

b　課税による超過負担は、三角形 EFG である。

c　課税後の総余剰は、三角形 AOG である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正

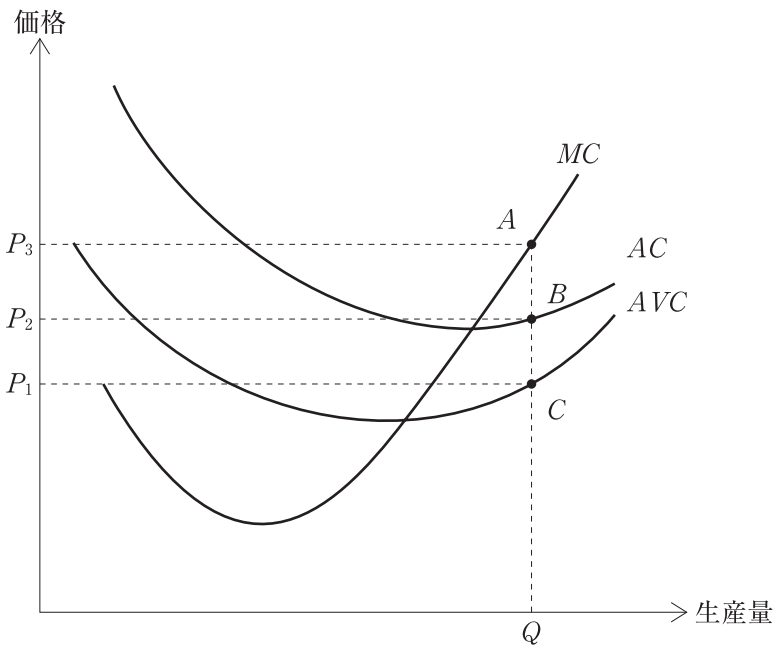
エ　a：誤　b：正　c：正

オ　a：誤　b：正　c：誤

第16問

下図には、限界費用曲線 MC、平均費用曲線 AC、平均可変費用曲線 AVC を描いている。なお、この企業は、利潤を最大化するように生産量を決定しているとする。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　価格が P_1 のとき、この企業の赤字は四角形 P_1P_2BC である。

b　価格が P_2 のとき、この企業の生産量は Q である。

c　価格が P_3 のとき、この企業の利潤は四角形 P_2P_3AB である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正

イ　a：正　b：正　c：誤

ウ　a：正　b：誤　c：正

エ　a：誤　b：誤　c：正

オ　a：誤　b：誤　c：誤

第17問

生産関数fは、

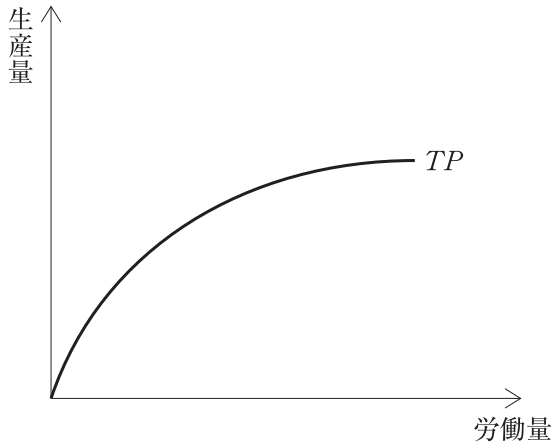
$Q = f(L, K)$

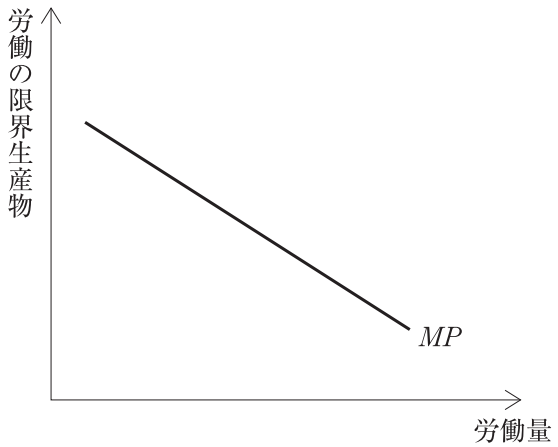
と表される。ここで、Q：生産量、L：労働投入量、K：資本投入量である。

資本投入量を一定として、労働投入量と生産量との関係を描くと、総生産物曲線TPが導かれる。

また、総生産物曲線から、労働投入の追加的な増加に伴う生産量の変化を求めると、労働の限界生産物曲線MPが導出される。

下図は、総生産物曲線と労働の限界生産物曲線を描いたものである。これらの図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。





a　資本投入量が増加すると、労働投入の各水準において総生産物も増加し、限界生産物曲線は右方にシフトする。

b　労働市場が開放されて外国からの労働移動が生じれば、限界生産物曲線は右方にシフトする。

c　労働投入量が増加すると資本・労働比率が低下し、労働１単位当たりの総生産物は増加する。

d　完全競争下では、労働の限界生産物と実質賃金率が一致するように労働投入量を決めることで企業の利潤は最大化し、労働の限界生産物曲線は労働需要曲線と一致する。

〔解答群〕

ア　aとb

イ　aとc

ウ　aとd

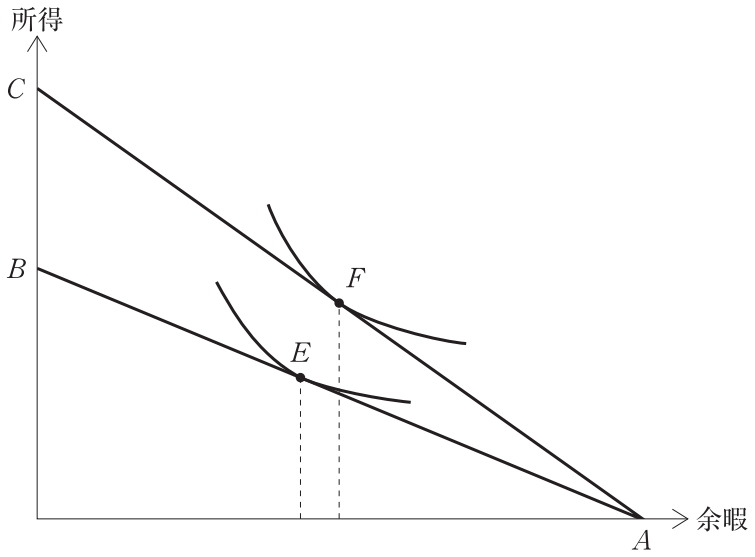
エ　bとc

オ　cとd

第18問

個人は一定の賃金率の下で労働供給を行うことで所得を得て、所得と余暇(労働時間以外の時間)で決まる効用を最大化しようとする。下図は、賃金率が上昇して、所得と余暇の関係を表した予算制約線がABからACにシフトしたことに伴って、それぞれの予算制約線と無差別曲線が接する点が、点Eから点Fに変化したことを示している。

この図に関する記述として、最も適切な組み合わせを下記の解答群から選べ。



a　賃金率の上昇は、労働供給を減少させる。

b　賃金率の上昇は、労働供給を増加させる。

c　点Eから点Fへの変化は、所得効果が代替効果を上回ったことを意味している。

d　点Eから点Fへの変化は、代替効果が所得効果を上回ったことを意味している。

〔解答群〕

ア　aとc

イ　aとd

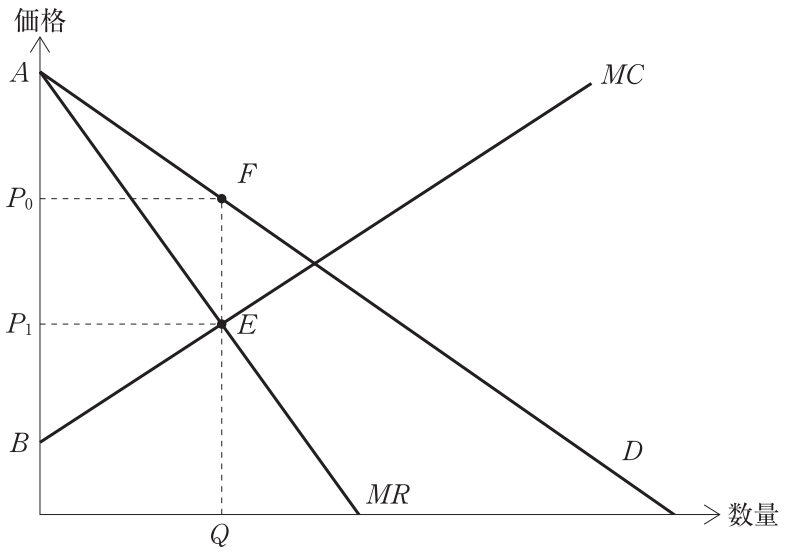
ウ　bとc

エ　bとd

第19問

下図は、独占企業の市場需要曲線 D、限界収入曲線 MR、限界費用曲線 MC を描いている。いま、この独占企業は、利潤を最大化するように生産量を決定しているとする。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　生産者余剰は、三角形 P_1BE である。

b　消費者余剰は、三角形 AP_0F である。

c　販売価格は、P_1 である。

〔解答群〕

ア　a：正　　b：正　　c：正

イ　a：正　　b：正　　c：誤

ウ　a：正　　b：誤　　c：正

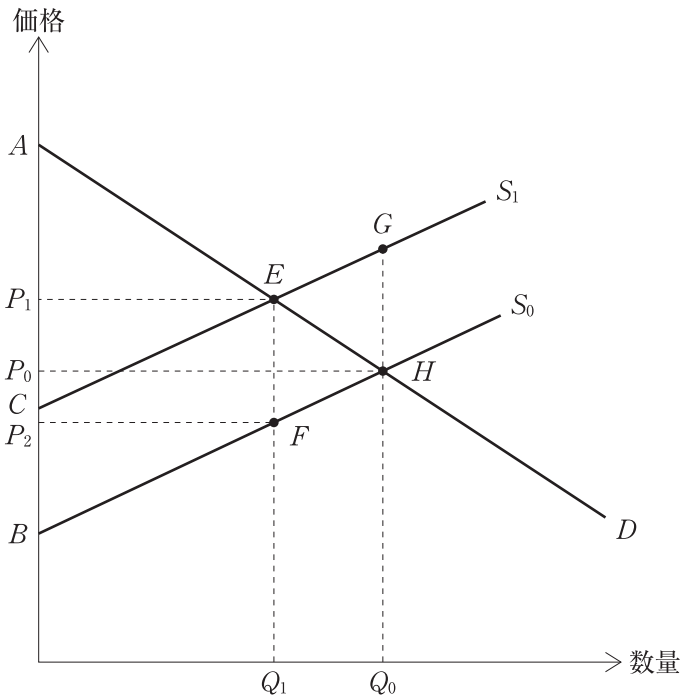
エ　a：誤　　b：正　　c：正

オ　a：誤　　b：正　　c：誤

第20問

ある財の生産に外部不経済が伴う場合の市場均衡を考える。下図には、需要曲線 D、私的限界費用曲線 S_0、社会的限界費用曲線 S_1 が描かれている。市場均衡は点 H で与えられ、均衡価格は P_0、均衡取引量は Q_0 である。

このとき、この財の生産に外部不経済がまったく生じなかった場合に比べて、社会が被る追加的費用の大きさとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



〔解答群〕

ア　四角形 P_1P_0HE

イ　四角形 P_0P_2FH

ウ　四角形 $CBFE$

エ　四角形 $CBHG$

オ　四角形 $EFHG$

第21問

経済学において定義される「公共財」に関する記述として、最も適切なものはどれか。

ア　公共財とは、政府が供給する財・サービスに限定され、その中には低所得者向けの医療扶助が含まれる。

イ　公共財とは、その供給に当たって巨額の固定費用がかかる財・サービスのことであり、生産量の増大に伴って長らく平均費用が逓減するために民間企業では採算がとれない。

ウ　公共財は、ある人の消費が他の人の消費を減らしてしまうという性質を備えているため、できるだけ受益者を限定して供給することが求められる。

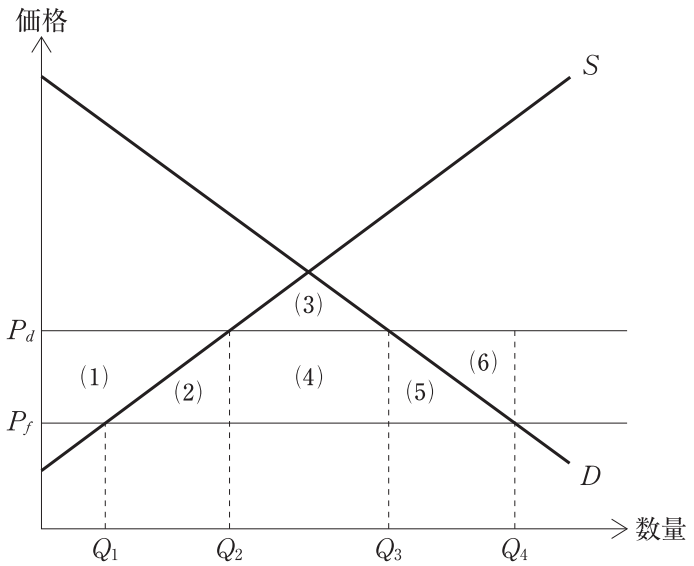
エ　公共財は、すべての人が潜在的に同じ量を消費できるという等量消費的な性質を備えており、その中には社会における良好な治安が含まれる。

オ　公共財は、対価を支払わない人の消費を排除できるという性質を備えており、その中には手数料を対価とした、地方自治体による住民票の発行サービスが含まれる。

第22問

下図に基づき、ある生産物に課される輸入関税の効果を考える。この財の国内需要曲線は D、国内供給曲線は S であり、国際価格は P_f で与えられている。当初この財については自由貿易政策がとられていたとする。ここで、同国が輸入１単位当たり T の関税を賦課したことで、国内価格は P_d に上昇することになった。

この図に関する記述の正誤の組み合わせとして、最も適切なものを下記の解答群から選べ。



a　国内価格の上昇による生産者余剰の増加分は、(1)と(2)の合計である。

b　国内価格の上昇による消費者余剰の減少分は、(1)、(2)、(4)、(5)の合計である。

c　政府の関税収入は、(4)、(5)、(6)の合計である。

d　関税政策が生じさせた厚生上の純損失は、(3)である。

〔解答群〕

ア　a：正　b：正　c：正　d：誤

イ　a：正　b：誤　c：正　d：誤

ウ　a：誤　b：正　c：誤　d：正

エ　a：誤　b：正　c：誤　d：誤

オ　a：誤　b：誤　c：正　d：正